

みらい光生病院 感覚器機能ケアセンター 摂食嚥下機能評価・訓練プログラムのご案内

名古屋市立大学医学部附属
みらい光生病院
感覚器機能ケアセンター

加齢により心身が疲れやすく弱った状態であるフレイル（虚弱）とフレイルの原因となる筋肉量の減少および筋力が低下する症状であるサルコペニアを予防することは、高齢期の疾病予防・介護予防につながります。

みらい光生病院感覚器機能ケアセンターでは、嚥下機能・口腔機能についての横断的な診療を行うとともに、よく噛んで飲み込める、豊かな食生活を送るための様々な訓練・指導プランを提案します。

- ◆ 嚥下外来診察日 毎週水曜日
- ◆ 紹介・予約に関するお問い合わせ 地域連携室へ 052-704-9555（直）
- ◆ 摂食嚥下機能評価・訓練プログラムについて
対象者・内容に関するお問い合わせ 耳鼻いんこう科 担当医 高橋



QOLを低下させる嚥下障害

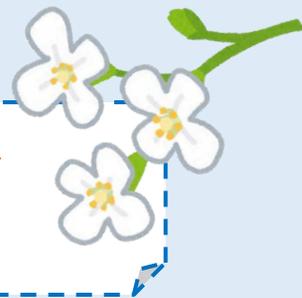
食物などが飲み込みにくくなったり、水でむせこんだり、飲むことが難しくなる嚥下障害で生じる問題は、肺炎・窒息・低栄養・脱水など生命の危険に直結する、とても深刻なものばかりです。また、食べることの障害は、食べる楽しみを失うという生活の質（QOL）の観点からも重要な問題になります。



嚥下のチェックリスト

- うまく口に運べない、よくこぼす
- 口の中に食べ物が残る
- 食事に時間がかかる
- 飲み込みにくいものがある
- 繰り返し飲み込んでいる
- 食事中にむせる、咳き込む
- のどや胸につかえる
- 食事が楽しくない
- やせてきた
- 口の中が汚い
- 何もしていないときでもむせる
- たんがらみの声
- 発熱を繰り返す
- 肺炎を繰り返す

サルコペニア・オーラルフレイルの予防を目指す摂食嚥下機能評価・訓練プログラム



かかりつけ医



初診

問診・検査 総合的な嚥下評価



耳鼻いんこう科・歯科口腔外科・リハビリテーション科
全身状態の検査及び多角的な嚥下機能検査

嚥下内視鏡検査
VE



嚥下造影検査
VF



歯科レントゲン検査
口腔機能検査



歯科口腔外科 高島

ステップ

嚥下訓練・指導 (週1回、全4回程度)

言語聴覚士

↓
嚥下訓練



理学療法士

↓
運動指導



歯科衛生士



口腔ケア
ブラッシング指導



管理栄養士

↓
食事・栄養指導



再評価

楽しく食事を続けて頂くために…



プログラム終了時の嚥下評価表、訓練・指導内容
についての報告書を作成

かかりつけ医



自立・自活や生活の質 (QOL) の向上に向け、プログラム終了後も
かかりつけ医と連携して機能維持を支援します。

